

STEP3 情報収集をしよう

■ 就職情報サイト&エージェントの登録・活用

日本の就職活動では、就職情報サイトへの登録は必要不可欠です。各企業の採用情報はもちろん、エントリーやインターンシップ・説明会への申込み窓口を就職情報サイトに設ける企業が多いので、必ず登録するようにしましょう。

また、専門のアドバイザーが就職活動をサポートしてくれるエージェントサービスや、無料で受講できる就職セミナーなども多くありますので有効に活用しましょう！

● 就職情報サイトの紹介

<外国人向けサイト・エージェント>



* GlobalLeader

<https://www.globalleadernavi.com/>



* リュウカツ

<https://ryugakusei.com/>



* マイナビ国際派就職

<https://global.mynabi.jp/>



* マイナビ新卒紹介 (留学生向け)

<https://shinsotsu.mynabi-agent.jp/ryugakusei/>

<日本で広く利用されているサイト>



* マイナビ2024

<https://job.mynabi.jp/2024/>



* リクナビ2024

<https://job.rikunabi.com/2024/>



* キャリタス就活2024

<https://job.career-tasu.jp/2024/top/>



■ 学校の就職課（キャリアセンター）の利用

在籍する学校の就職課（キャリアセンター）を積極的に活用しましょう！卒業生の就職状況や、留学生積極採用企業の情報など、細かい情報を入手することができます。また、履歴書添削や面接対策、インターンシップの相談など、様々なサービスしてくれます。学校の就職課では、自分の専門に合った求人情報を探しやすいので、頻繁に足を運んでみましょう。

■ 業界・職種研究

● 企業ホームページの確認

興味のある業界の企業ホームページにアクセスしてみましょう。

企業のホームページには、会社概要・事業内容・採用情報の他、代表挨拶や企業理念、スローガン等が掲載されています。企業の志や、社風を知ることができるため、面接対策としても有効です。

● 企業説明会への参加

企業が開催する説明会へ積極的に参加して、さまざまな業界・職種の仕事を正しく理解し、自分の就職活動の軸にマッチしているか、自分の能力を活かせる仕事であるか等、しっかりと確認しましょう。

① 合同企業説明会

たくさんの企業が集まって合同で行う説明会のことです。全国各地で開催され、会場に設置された各企業のブースにて、集まった学生に向けて、会社概要や事業内容、先輩社員の話などを紹介する会社説明会が行われます。事前に参加企業を確認し、当日は、時間を有効に使いましょう。

留学生限定の合同説明会も多くありますので、積極的に参加しましょう。

② 会社説明会

企業が本社や別会場にて単独で開く説明会のことです。最近はオンラインでの実施も多くなっています。先輩社員から事業内容や仕事のやりがいなどを聞くことができたり、採用情報の他にも会社の雰囲気や印象などを知ることができるので、入社後の自分の姿がイメージできるでしょう。

会社説明会は、ほとんどが事前予約制です。就職情報サイトや企業のホームページをしっかりとチェックして、早めに予約をしましょう。

■ インターンシップ

インターンシップとは、学生が志望企業や団体へ訪問し、実際に業務を体験する「職業体験」のことです。最近では、就労体験だけでなく、企業が準備した体験型プログラムに参加したり、企画立案などのテーマについてグループごとに議論・発表をするグループワーク型のインターンシップも増えています。

志望業界・職種がある程度固まったら、積極的に参加しましょう。

POINT インターンシップのメリット

① さまざまな業界・職種を体験できる

興味の湧いた業界で実際に仕事を体験してみると、自分がその業界や職種に向いているかを判断することができます。志望業界を明確にするために非常に役に立ちますので、内定獲得への近道となるでしょう。

② ビジネスマナーの習得・コミュニケーションスキルが上達する

実際に日本企業で働いてみることで、電話・メール対応を始めとしたビジネスマナーを習得することができます。先輩社員をお手本にするのもよいでしょう。先輩社員に同行したり、会議に参加したりと、ビジネスにおけるコミュニケーションスキルも身に付けることができるでしょう。

③ 「日本で働く」ということについて理解できる

日本の会社で働くというのはどういうことでしょうか。環境は母国とどのように違いますか。日本企業のインターンシップに参加することで、母国との違いやアルバイトとは違う責任なども見えてきて、「日本社会で働く」とはどのようなことなのかを理解することができるでしょう。

④ 採用選考において有利になる可能性がある

企業の中には、インターンシップを採用選考の一環として実施している企業があります。インターンシップでの姿勢や実績によっては、内定に大きく近づくことができますので、インターンシップの種類や内容もしっかりと確認しましょう。

● インターンシップの種類

① 1日体験型

1日だけのインターンシップは、会社の説明会として実施することが多く、主に簡単なグループワークや社内見学、社員との座談会が開催されます。

② 短期型

1週間～1ヶ月程度のインターンシップは、最も一般的とされており、グループワークを行ったり、実際の業務を体験したりと1日体験型のインターンシップより実践的な経験ができます。企業によっては、インターンシップに参加することで選考過程の一部が免除になることもあるため、希望企業のインターンシップには参加しておくチャンスが広がるでしょう。

③ 長期型

1ヶ月以上行うインターンシップは、多くの場合給与が支払われ、実際に業務を行いながら経験を積み重ね、最終的には企業の即戦力としての能力を得ることを期待できます。長期インターンシップの成果によっては、就職活動で有利になったり、直接内定をもらえる可能性もあります。

POINT アルバイトとの違い

インターンシップとアルバイトでは、目的に大きな違いがあります。アルバイトの目的は、「お金を稼ぐこと」。インターンシップの目的は、「自分の適性を把握すること」、「社会人として働くことを経験すること（スキルアップ）」です。インターンシップに参加することで、アルバイトには任せてもらえない仕事を見学・体験することができ、企業全体を理解する機会にもなります。責任感をもって最後までしっかりとやり抜きましょう。

●インターンシップの準備

インターンシップに参加する際は、保険に加入しましょう。

インターンシップ中に万が一、誰かに怪我をさせてしまった場合や、会社のモノなどを壊してしまったりした時に備えての保険です。保険に加入していないと、その損害を本人が賠償しなければなりません。

詳しくは、学校の就職課（キャリアセンター）に相談してください。



アドバイス

インターンシップに参加するときは、「社会人」として気を引き締め、ルールやマナーを守りましょう。

遅刻や無断欠席は厳禁です。服装・髪型などの身だしなみにも注意を払いましょう。

■OBOG訪問

入社してから「自分の想像していた仕事ではなかった」などと後悔することのないよう、学校の卒業生や知り合いから紹介を受けた人を訪ねて、志望企業で働いている先輩の話を直接聞きましょう。先輩の実際の業務や一日の流れを聞くことで、会社説明会や企業ホームページからの情報よりも具体的なイメージをつかむことができます。また、自己PRや志望動機を先輩に聞いてもらい、アドバイスをもらうのもよいでしょう。

●OBOG 訪問の流れ



①OBOGを探す

まずは、OBOG訪問に対応してくれる先輩留学生を探しましょう。同じ出身国の先輩留学生や、ゼミや研究室の教授、部活やサークルのネットワークを利用してみましょう。

POINT OBOG 探しのポイント

留学生のネットワークでは、なかなかOBOGが見つからないこともあります。そんな時は下記の方法も試してみましょう。

- * 留学生のOBOGが見つからなければ、日本人の先輩を探してみる。
- * 学校の就職課（キャリアセンター）や所属ゼミの教授に紹介してもらう。
- * 共立財団のOBOG紹介（p.18）を確認し、共立財団まで連絡する。

②アポイントをとる

訪問するOBOGが見つかったら、アポイント（約束）をとります。

電話でアポイントをとる時は、相手が多忙な社会人であることを理解し、電話をかけた際は、「今、お時間よろしいでしょうか？」と相手の状況を必ず伺うようにしましょう。

▶電話のかけ方・マナーはp.27

③事前準備

OBOG訪問当日の限られた時間を有効に使えるよう、事前に訪問企業のホームページなどをチェックして事業内容などを予習しておきましょう。

また、当日に聞き逃すことの無いよう、聞きたいことや気になる点を項目別にしっかりとまとめておきましょう。

④ 訪問当日

OBOGの中には、業務時間中や休み時間を割いて会ってくれる人もいます。学生のよう
に自由に時間を使えるわけではないので、よく自覚して礼儀正しく振舞いましょう。
また、身だしなみはスーツなどの印象のよい服装で向かい、話を聞く際はメモを取る
など、誠実な態度で臨みましょう。

⑤ 訪問後のお礼

忙しい時間を割いて話を聞かせてくれた先輩に対して、感謝の気持ちを込めた丁寧な
お礼状を出すことを忘れてはなりません。感謝の気持ちに加え、回答してくれたこと
に対しての感想なども添えておきましょう。

決まった書式や形式はありませんが、メールか手紙で送るのが一般的です。訪問翌日
までには必ず送るようにしましょう。

<お礼状の一例>

株式会社〇〇

××部 △△様

拝啓 先日はお忙しい中、お時間を頂き誠にありがとうございました。貴重なお話やアドバイスな
ど、大変参考になりました。

学校ではなかなか得ることのできない現場の情報も伺うことができ、本当に感謝しております。

就職先が決まりましたら、改めてご報告させていただきます。

まずは略儀ながら書中をもってお礼申し上げます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

〇〇年〇月〇日

△△大学 ××学部 氏名

⑥ 進路決定の報告

就職活動を終えて進路が決定したら、
就職先が訪問した会社や同業ではなくても、
お世話になった先輩に必ず報告をしましょう。
先輩もきっと喜んでくれるでしょう。



● 共立財団 奨学生 OBOG のご紹介

日本で就職をした共立財団の奨学生OBOGを紹介します！下記の先輩留学生は、現
在それぞれの業界で大活躍中です。

先輩留学生の業界・職種を確認し、OBOG訪問を希望する場合は当財団を介して
OBOGとアポイントをとることができますので、是非ご連絡ください。

\\ 皆さんの日本就職を応援しています！ /



ベトナム出身
PHAM ANH QUOCさん
自動車整備士



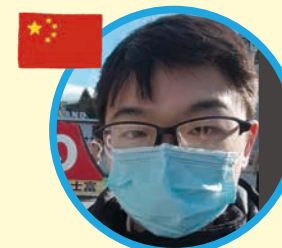
ベトナム出身
LE THI HUYENさん
貿易事務



ベトナム出身
DO THI VAN DIEUさん
システムエンジニア



中国出身
白 少宣さん
フロントエンドエンジニア



中国出身
寧 昊さん
メーカー営業



モンゴル出身
SUKHTSOODOL
LKHAGVADORJさん
IT関係

共立国際交流奨学財団 就業支援部 小島まで
『「共立・桜」のOBOG訪問について』とお問い合わせください。

☎03-5295-0205 ✉kif-info@dormy.co.jp